日刊工業新聞

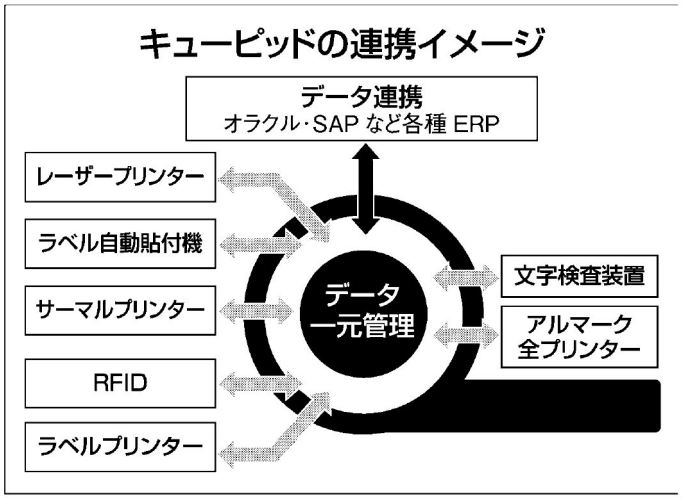
年月日	20	03	26	ページ	11	NO.	

印字一括管理でミス防止

アルマーク

独自画面 ソフト開発

アルマーク（大阪府吹田市、田中克也社長、06・6369・2711）は、複数のメーカーの産業用印字機器を一括管理できるソフトウエア「QP.iD（キューピッド）」を開発した。独自の設定画面を用意し、使いやすくした。製造現場における操作ミスや印字ミスを防止・低減できる。オプテックス・エフエー（京都市下京区）の文字検査装置と連携し検査体制も強化できる。食品業界や精密機器業界などの印字工程現場向けに提案する。



4月14日に発売する。価格は非公表。スロベニアのナイスラベル製プリンタードライバーソフトウエアを基に、アルマークが設定画面などを独自開発した。サトー（東京都目黒区）や東芝テックのラベルプリンター、海外製の産業用インクジェットプリンターなどを一つの画面で一括管理できる。印字用途以外に、無線識別（RFID）にデータを読み書きする装置や統合業務パッケージ（ERP）などとも連携が可能だ。

ナイスラベルのドライバーソフトは複数のメーカーのプリンターを一括管理でき、欧米で一般的に使われている。一方、日本ではメーカー各社の囲い込み戦略が長年続いたため、異なるメーカーの製品を使用した場合のデータ連携が難しかった。今後、ナイスラベルによる日本製品対応が拡大すれば、国内製のレーザープリンターやサーマルプリンターも一括管理できるという。

アルマークは産業用印字機器を中心に取り扱う商社。顧客サポートで展開してきたシステム構築（SI）ノウハウを生かし、同社として初の自社製品を開発した。

無断転載・複写禁止㈱日刊工業新聞社